

インド視察ミッション報告

目的：インド視察ミッション（JETRO 主催）

日程：2025年3月2日（日）～9日（日）

出張先：インド（デリー→バンガロール→アーメダバード
→ドレラ→デリー）

出張者：事務局 佐藤

参加者：26社35人

1. スケジュールと概要

• 3月2日（日）

8:25羽田→16:45デリー

• 3月3日（月）

JCCII・JETRO・JBIC 共催第5回半導体委員会（栗原事務局
局長：JBIC）

- Mr. Surinder Singh, ISM（India Semiconductor Mission）によるインドの概要・半導体 Eco System 支援策

- Invest India Mr. Sarvesh、日系企業へのサポート事例

- India Cellular & Electronics Association Dr. Aashish Saurikhia

- パネル Discussion（日系企業4社）

Mr. Mather Ranju, Director, Hitachi Hi-Tech India

Mr. Takayoshi Uchiumi, Managing Director, Nippon Express Group in India

Mr. Baradwai Director（Product Marketing）, TEL India

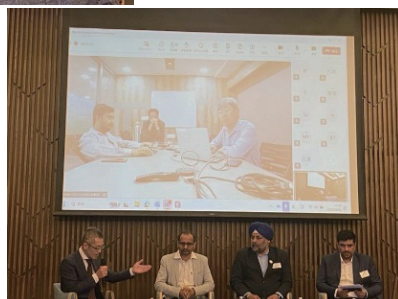
Mr. Krishna Sharma, General Manager, Tmeic Industrial Systems

半導体工場装置立ち上げ時の住環境整備が重要である



◀ パネル Discussion
（日本企業）

パネル Discussion ▶
（インド企業）



ことが確認された。

• パネル Discussion（インド企業）

テーマ：日系企業との協業方針、今後のインドにおける事業方針、直面している課題（設備、原材料、サプライチェーン、インフラ、物流等）

パネリスト：

Dr. Basan Saini, Head R&D, Kaynes Semicon

Mr. KY Kim, Chief Procurement Officer, CG Semi（by online）

Mr. Ashish Priyadarshi, VP-new Business Semiconductors, Dixon Technologies India

Mr. Raminder Soin, Chairman and MD, Rosolute Group

• 閉会挨拶

在インド日本国大使館 有吉孝史 次席公使

13:30 VVDN HQ Global Innovation Park（GIP）訪問

以下三名による開会挨拶と ICEA 活動報告

JETRO 理事中條氏

ICEA チェアマン Pankaj Mohindroo 氏

インド政府電子・情報技術省 Joint Secretary

Shri Sushi Pal 氏

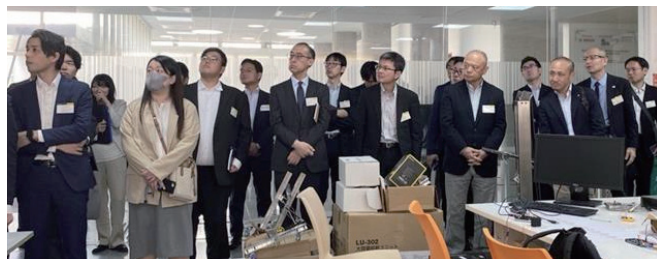
• 3月4日（火）

14:30 IIITB（大学）訪問

- JETRO ペンガロール市概況ブリーフィング

- 大学説明（Dr. Debabrata Das）メカトロニクスで有名な大学

- VLSI Ecosystem 開発について説明を受けた。



IIITB 研究室見学

16:30 ルネサスとの意見交換

- 現在はチップデザインと Sales の拠点がある。

- 今後、後工程工場建設を計画中、現時点では、前工程工場の計画は無し

- 去年の SEMICON India で柴田社長がモディ首相と会談した。

• 3月5日(水)

Applied Materials India 訪問

- ベンガルールを始めインド国内5カ所に拠点あり。従業員は8,200人。主には装置 Parts の改良と保守 (CMP 実機あり DI Water でプロセス シミュレーション、装置コントローラーのシステム開発 (ソフト))

SmartSoC (Aloft Bengaluru Whitefield) 訪問

- デバイス設計のターンキーソリューションを提供。デバイス製造は TSMC (4-7nm)。

• 3月6日(木)

グジャラート・セミコネクト視察

グジャラート州政府、IESA (インド・エレクトロニクス・半導体協会)、SEMI が共同主催する半導体をテーマとしたイベント。半導体分野におけるグローバルなキープレー



グジャラート州政府とのパネル Discussion

ヤーが集う「Vision Summit」などのカンファレンスや展示会を開催。

グジャラート政府とのラウンドテーブル (CEO Boardroom)

• Chair woman の挨拶

アーメダバード・ドレラの半導体工場は順調に建設が進んでいる。

➤グジャラート州政府としても引き続き後押ししていく。

➤もう一つ、ドレラ近郊に International Smart City を計画している。

➤ここは国際都市として世界最先端の都市技術が詰まった都市となる。

➤ただし、具体的な Schedule の説明はなかった。関係者の話からすると時間はかかりそうだ。まずは、工場立ち上げにむけて必要なスタッフが安心して滞在できる住居(ホテルやアパートメント)の確保が必要。

Tata Electronics Vish 氏との Mtg

- 是非日本のサプライヤーとのスムーズな会話にむけた Kick Off Mtg を近々実施したい。

- Mtg は JETRO が主催し、SEAJ・SEMI Japan が協力する形で企画するのがよい。



TATA Electronics ドレラ工場完成模型

14:00 展示会場見学

- 展示会は SEMICON India と比べて出展数が少ない (100以下)。
- TATA Electronics と Micron のブースは大きい、後は小粒。
- 日本からは、Advantest、Ebara、Lasertech が小ブース展示。
- TATA Electronics はドレラ工場模型を展示。

3月7日(金)

ドレラ土地開発公社訪問

Smart City 完成予想ビデオ鑑賞



◀ドレラ現況と
都市完成予想図

TATA Electronics 半導体建設現場見学

建設現場をバスに乗りながら見学 (撮影禁止)

- 現在盛り土とパイリング (60基ぐらい)
- 建屋建設が始まれば、追加で1万人の作業員が来るので、そのために、住居については、これから建設するとの事。
- PSMC からは現在20人程度来ているが、建物が出来ると200人規模で台湾から技術者が来るとの事。
- その人たちの住環境整備について、現在グジャラート政府と資金交渉中。
- 建設現場を抜け、運河の対岸に撮影可能場所有り (写真)。
- 工場は2026年末完成目標。
- TATA Electronics 建設現場のほかに、変電所 (Torrent Power) および工場排水処理所も見学
- 変電
22万ボルトと40万ボルトの電気を1.1万ボルトに変電し、各工場に分配する準備は完了しているとのこと。
- 工場用水処理
工場用水は各工場で一定の基準まで浄化し、それを一か所に集めて更に浄化を行うシステム。工場からの排水の100%リサイクルを目指しており、このシステムはその要である。浄化された用水は、植物への散水などでリサイクル利用するようだ。
- TATA Electronics に隣接するように太陽光パネル製造のための工場 (RENEW) 建屋は出来上がっているようだ。

(SEAJ 事務局 佐藤 富志夫)

ドレラ工場▶
3月7日現在

